第7節 産業振興課

[総括概要]

大平地区の農業は、水田地帯では米麦の二毛作を中心として、いちご、ニラ、トマト等の施設園芸農業や、肉牛肥育、酪農、養豚等の畜産業が実施され、畑作地帯(樹園地を含む)においては、ぶどう、なし、野菜等の営農が展開されている。担い手の多くは、首都圏に位置する立地条件を活かし、生産性の高い、いちご、ニラ、トマト、ぶどう等の施設園芸と、基幹作物の米麦を組み合わせた複合経営が中心である。施設園芸農家においては、後継者の就農も多く家族経営のなかで、今後の規模拡大が期待される。

一方、米麦を主とする土地利用型農業では、農用地の利用集積により大規模化が進んでいるものの、米麦の価格が下落傾向にあり、依然として厳しい状況にある。 また、小規模経営農家においても、経営主の高齢化、兼業化により離農者が増えつ つある。

このような中、戸別所得補償制度モデル対策の実施により、大平町水田農業推進協議会と共に、農家の方が安心して農業に従事できる環境づくりを進めた。

土地基盤整備事業は昭和34年から始まり平成2年にはほぼ完了し、土地基盤整備率は98.7%となっており、基盤整備の済んだ優良農地を長期的に有効利用するためにも、首都圏農業をさらに推進し、本地域の特産物であるイチゴ、ニラ、トマト、ぶどう等の生産技術の向上と流通体制の整備を進め、都市型農業への定着を図った。また土地利用型農業は、さらに担い手への土地利用集積を推進し、水田の高度利用を図り、安定的な経営を目指して進めた。

一方、国土の保全・水源のかん養等、森林の有する公益的機能を十全に発揮させるためには、将来にわたって、森林を適正に整備し保全する必要があるため、国・県の交付金や補助金を活用し、森林整備が適切に行われるよう事業を推進した。

また、林道の維持管理については、林業の生産性向上を図る機能とともに、観光 客等も通行することから、草刈等維持管理に緊急雇用対策事業を導入し適正な維持 管理を行った。

商工業関係については、地域の商工業の総合的な改善発展をめざし、大平町商工会とともに商工業者の育成・支援をはじめする諸事業を開催し、中小企業の育成と経営品質の向上に向けた取組のほか、産学官連携を推進した。

また、中心市街地活性化支援として、TMO構想により、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、まちづくり交流センター (通称名プラッツおおひら)で中心市街地活性化の支援を行った。

労働関係については、雇用相談窓口を設置するほか、国の交付金を活用した緊急 雇用対策事業を行い、失業者に対する雇用の創出に努めた。

大平勤労青少年ホームについては、平成21年度から指定管理者制度により管理 を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・ 書道等の各種教養講座、テニス・ヨガ・エアロビクス等の各種スポーツ講座を開催 し、さらに各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の 実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に 努めた。

観光関係については、大平地区はめぐまれた自然のなかにながい歴史と、伝統のなかに素晴らしい観光資源のある地域である。太平山自然公園の南側に広がる太平山南山麓には、一帯に広がる万本桜など豊かな自然や、大中寺、清水寺、東山道などの史跡や文化財、かかしの里、歴史民俗資料館などの公共施設のほか民間のレジャー施設、約70の観光ぶどう園のある大平ぶどう団地がある。また、ぶどう袋かけ体験など地域の立場から特性を活かすニューツーリズム体験型観光の創出が地域の自発的な取り組みが行われた。

農林振興担当

1 戸別所得補償モデル対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の導入により、 意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米のモデル事業

本市大平地域に提供された平成22年産米に係る需要情報は4,632トンであり、 米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市大平町水田農業推進協議会と連携し、 農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,281人
水稲生産実施計画書提出農業者数 (①)	1,231人
生産確定数量の計(①の積算)	4, 563, 931kg
作付確定面積(①の積算)(②)	93,344.0a
主食用等水稲作付面積の計(①の積算)(③)	88, 755. 6a
差引(②-③)	4, 588.4a
水稲生産確定面積に対する	95.1%
主食用等水稲作付面積の割合 (③÷②)	9 0 . 1 /0

(2) 自給率向上事業

戦略作物作付面積

二条大麦	6 4 8. 7 ha
小麦	17.7ha
大豆	98.3ha
そば	2. 3 ha
飼料作物	0. 9 ha
新規需要米・加工用米	82.9ha

(3) 水田農業集落推進員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市大平町水田農業推進協議会との連携により、水田農業集落推進員会議を開催した。

水田農業集落推進員会議の開催状況

開催時期	参加者数(人)
平成22年5月 7日	4 2
平成22年6月24日	4 3
平成23年3月 1日	4 1

2 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導・育成及び支援を行った。

(1) 大平町認定農業者連絡協議会補助金

農業経営基盤強化促進に関する基本的構想(町基本構想)に掲げる、効率的かつ安定的な農業経営を実践する認定農業者の育成を図ることを目的として、団体組織に係る運営活動、交流・情報交換活動、経営改善に向けた相互研鑽活動に対して助成を行った。

- ・補助金 33,000円
- (2) 大平町農村生活研究グループ協議会

会員相互の親睦協調を図り、グループ活動によって生活の合理化を推進し、お互いの教養を高めあい、農家生活の近代化に役立つことを目的として、農産加工品の講習会やイベントへの出店及び研修会を行った。

- •補助金 142,000円
- (3) 大平町青少年クラブ協議会補助金

クラブ員相互の連絡を緊密にして、その健全な発展を期するとともに、クラブ活動 を通して農民としての基礎的知識技能を修得し、また、豊かな情操と健康を備え、知 性と協力性に富む社会人となることを目的として、クラブ員の団結を強め親睦を深め る事業及び地域社会に役立つ事業等に対し助成を行った。

- ・補助金 50,000円
- (4) おおひらアグリツーリズム推進協議会

都市部に住む人々に農業・農村を知ってもらうとともに、生産者との直接的なコミュニケーションを図り、栃木市大平町における都市と農村の交流の持続的な発展に寄与することを目的として、都市と農村交流事業(黒大豆オーナー制度)に対して助成を行った。

- ・補助金 150,000円
- 3 おおひらマーケットイン推進補助金

マーケットイン型農業を推進するため、その拠点となる農産物直売所に農作物を出荷する農業者に対し、安全で安心な農産物の流通を促進し、もって地産地消の推進を図る

ことを目的として、農産物直売所の利用に係る経費の一部を助成した。

- ・補助金 2,892,900円
- ・交付者数 延べ 313人
- 4 おおひらマーケットイン施設整備補助金

マーケットイン型農業を推進するため、その拠点となる農産物直売所に農作物を出荷する農業者に対し、農産物の生産、品質及び減農薬栽培を促進し、もって農業の振興を図ることを目的として、農産物直売所に出荷するための農作物の生産施設を整備する経費の一部を助成した。

- •補助金 394,500円
- 交付者数 4人
- 5 おおひら集落営農プラスワン推進支援補助金

農業の新たな担い手である集落営農組織に対する育成の一環として、新たな園芸作物への取組又は既に作付している園芸作物の取組拡大をする集落営農組織に対し、次代の農業を担う集落営農組織の体制整備を支援するとともに、園芸作物の産地化を推進することを目的として、おおひら集落営農プラスワン事業支援補助金を助成した。

- ・補助金 750,000円
- 交付者数 5組織
- 6 集落営農の法人化推進
- (1) 集落営農組織連絡協議会の運営

大平町内の7つの集落営農組合で組織する集落営農組織連絡協議会の事業を通して、 集落営農組織の経営の効率化と法人化の推進を図った。

ア 県担い手育成総合支援協議会主催の集落営農組織法人化研修会への参加

- ・参加者 3人
- イ 視察研修 千葉県印旛郡栄町黒豆オーナー制度の意見交換会
 - ・参加者 18人
 - •補助金 70,000円
- (2) 地域農業担い手組織育成実施事業

持続性の高い農業経営を実践、及び定着するために集落営農組織の法人化を推進するための事業を実施した。

- · 事業費 157,500 円 (市補助金 50,000 円)
- · 事業実施主体 下野農業協同組合
- ア 法人化検討
 - ·新第2集落営農組合 12人
 - · 西水代集落営農組合 14人
- イ 法人化研修会 千葉県松田市 農事組合法人「アグリピア松田」視察
 - ·参加者 18人

7 おおひら産業祭事業

農業・商業・工業・観光業の活性化を図るべく、地元で栽培された農産物、及び地元で生産された商品のPR。展示、即売会を実施し、生産者と消費者の交流、また、大平地区における産業の発展を寄与するため、おおひら産業祭を実施した。

- ・主催者 おおひら産業祭実行委員会
- ・共 催 大平町商工会・JAしもつけ大平地区営農経済センター
- ・開催日 平成 22 年 11 月 27 日 (土) 午前 10 時~午後 3 時 11 月 28 日 (日) 午前 10 時~午後 2 時
- •会 場 大平運動公園
- ・来場者 延べ 12,000 人

8 大平町畜産振興協議会

畜産団体を組織化することにより、畜産農家相互の連絡協調を基調とし、畜産経営の発展を図るとともに、家畜防疫事業の実践を図るため事業を実施した。

・事業内容 おおひら産業祭での豚焼肉、牛乳等のチャリティー配布実施

9 農産物加工施設の管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所では、主に地元の農産物を使用したみ そ加工、ぶどうジュース、焼肉のたれ、お菓子づくりの講習会等が行われた。

施設	名	利用日数(日)	利用人数(人)
農村婦人の家	農産物加工施設	1 0 3	2 6 7
西地区農産加工所	農産物加工施設	1 5 7	6 5 7

10 市単独土地改良事業

農業生産性の維持向上に向けた農業生産基盤の整備に係る取組みを支援することにより、農業生産基盤の整備を促進し、農業経営の安定に資するため、農業水利施設の老朽化等による部分的な施設の構造及び排水条件の改良等、簡易な整備を実施する土地改良区等を支援した。 (単位:円)

土地改良区等名	工事内容	事業費	補助金	
	用水路嵩上げ工事(富田地区)	400,000	80,000	
大平西部	$L = 60 \mathrm{m}$	400,000	00,000	
	幹線排水路土砂浚渫工事(富田地区)	3, 293, 850	3, 070, 000	
	6 路線 L=1.34km (浚渫量 798 ㎡)	3, 293, 800	3,070,000	
大美間	ポンプ交換 (真弓地区)	1 400 000	200 000	
八天间	Φ80mm×5.5kw 水中ポンプ1基	1,490,000	298, 000	

11 農地・水・環境保全向上対策事業

農地や水、環境を良好に保全するための地域ぐるみの共同活動への取り組みを支

援した。

· 共同活動支援

	協	定期間	ij		基礎	支援		
活動組織名	締結	終了	交付		⊞ 円/10 a)	火 (700 円		金額計(円)
	年度	年度	期 間	面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
西山田自然 環境保全会	H19	Н23	5	8,907	979, 770	7, 218	505, 260	1,485,030
富 田 七環境保全会	H20	H24	4	4, 540	499, 400	105	7, 350	506, 750
お楽の里下 高島	H20	H24	4	7, 243	796, 730	99	6, 930	803, 660
真 弓 南 環境保全会	H20	H24	4	5, 997	659, 670	345	24, 150	683, 820
西 水 代 環境保全会	H20	H24	4	10, 449	1, 149, 390	197	13, 790	1, 163, 180

• 補助金

大平町農地・水・環境保全向上対策連絡協議会補助金 100,000 円

この協議会は、活動5組織間の連絡を緊密にし、相互の親睦と理解を図ることを目的に平成20年度に設立され、平成22年度までの3ヶ年間組織した。

12 松くい虫防除委託事業

松くい虫被害対策として、高度公益機能森林及び地区保全森林への被害拡大を防ぐため、補助事業を活用し、春には予防事業として地上散布、秋には駆除事業として衛生伐及び樹幹注入等を実施した。

事業実績

事業区分	事業量	事業費(円)	補助金(円)	備考
地上散布	4.1ha	477,750	238,875	県単
地工权机	2.0ha	225,750	0	市単
衛生伐	86 m³	1 576 000	1,576,000	被害木の除去 69 ㎡
角生以	00 111	1,576,000	1,570,000	不用木の除去 17 ㎡
伐倒駆除	6 本	252,000	0	市単
樹幹注入	116 本	1,911,000	1,911,000	薬剤 90ml×685 本
樹幹注入調	一式	94,500	0	
查業務委託	一氏	94,500	U	

13 治山林道事業

保全林整備工事費

- (1) 林道下皆川線·大中寺下皆川線草刈業務 延長3.2km×幅1.6m
 - ・業務委託費 375,026円

- ·施工者 町田造園
- (2) 林道西山田線草刈業務 延長4.0km×幅1.6m
 - ·業務委託費 449,821円
 - ・施工者 (有) 共栄サービス
- (3) 林道西山田線改修工事 延長45.0m
 - ·工事請負費 1,911,000円 (内 県補助金 573,300円)
 - · 測量・設計委託料 598,500円
 - ・施工者 (有)上田建設
- (4) 林道修繕工事(舗装修繕等)376,089円
- 14 森林整備地域活動支援交付金事業

森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の支援を行った。

- · 象森林面積 4.21ha
- · 交 付 金 63,150円
- 15 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業(とちぎの元気な森づくり県 民税事業)に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

平成22年度事業の概要

(1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業

地域住民が利活用でき、地域の誇りとなるような森林環境を整備した。(下草刈り、 除伐、木製階段設置)

- · 実施個所 西山田地内 (清水寺東側斜面、生活環境保全林)
- · 事業量 14.0ha
- · 事業費 3,061,485 円 (補助率 100%)
- (2) 将来まで守り育てる里山林管理事業

NPO太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施個所 富田・西山田・下皆川地内
- 事業量6.4ha
- •事業費 50,000円×6.4ha=320,000円 (補助率100%)
- (3) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備事業

NPO太平山南山麓友の会及び下皆川育成会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施個所 富田・西山田・下皆川地内(大平西小通学路周辺の山林)
- ・事業量 2.0ha
- ・事業費 50,000円×2.0ha=100,000円(補助率100%)
- (4) みんなの元気な森づくり支援事業

地域や地域住民による、森林を活用した森づくり活動を補助金により支援した。

・実施個所 かかしの里

- 事業量 1団体
- ・事業費 500,000円×1団体 (NPO太平山南山麓友の会) 林業体験活動に対し ての補助
- 16 林道遊歩道等維持管理作業委託事業 (緊急雇用創出事業)

国の緊急雇用創出事業の交付金を活用した事業で、林道・遊歩道の除草、側溝清掃、 枝切りなど、維持管理を委託した。

- · 委 託 費 5,485,148 円 (補助率 100%)
- ·委 託 先 NPO太平山南山麓友の会
- ・業務内容 林道(①西山田線・②大中寺下皆川線・③下皆川線)約7.2kmや首 都圏自然歩道約14.2kmなどの除草、側溝清掃、枝切り等維持管理

17 火入許可

病害虫駆除を目的としたしば焼等について、栃木市火入れに関する条例に基づき許可 した。

· 許可処理件数 1件

商工観光担当

1 商工業振興

(1) 商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会の諸事業に助成を行った。

名	称	事	業	費	うち市補助額	備	考
十亚町帝工人東海	光弗运出	51	731	273 四	10,000,000 円	経営改善普及	事業
大平町商工会事業費補助金		51, 751, 275 円		210 1	10,000,000 1	地域総合振興	事業

(2) 産業振興活動支援

大平地区内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う産業振興の ための意欲的な取り組みに対して支援を行った。

名称	事 業 費	市補助金	備考
産業振興活動支援事業補助金	255, 892 円	50,000円	富田地区中心市街地商業 振興会事業費助成

(3) 異業種交流イベント活動支援

大平地区内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う、相互の交流及び連携したイベント等の活動に対して支援を行った。

名	称	事	業	費	市補助金	備	考
異業種交流イベント	活動補助金		74,	000円	50,000円	太平山系卜 行委員会事	レッキング実 業費助成

(4) 産学官連携の推進

大学や研究機関が持つ研究成果や教授等の知識・経験などを民間企業が活用し、経

- · 実施日 平成 22 年 11 月 19 日
- ・講 師 大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィス 産学官連携コーディネータ 大野邦雄先生

2 中心市街地活性化

大平地区内(旧大平町)では平成16年5月に策定した中心市街地活性化基本計画により、中心市街地活性化支援として、平成17年12月に策定した大平町TMO構想により、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、まちづくり交流センター(通称名プラッツおおひら)をオープンし、管理運営を㈱プラッツおおひらに委託し、中心市街地活性化の支援を行った。

(1) まちづくり交流センター利用者総数

	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
営業日数	3 1 2 日	3 1 6 日	3 1 6 日
利用者数	102,398人	66,883人	76,066人
1日平均	3 2 8 人	2 1 2 人	2 4 1 人

(2) まちづくり交流センター施設利用状況

		平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
多目的ルームA	使用時間	6 0 9 時間	9 1 7 時間	1,142時間
多日的ルームA	稼働率	17.7%	26.4%	3 2 . 9 %
夕日的 A t. D	使用時間	685時間	971時間	1,252時間
多目的ルームB	稼働率	20.0%	28.0%	36.1%
遮音スタジオ	使用時間	2,100時間	2,105時間	1,924時間
応日ハクンス	稼働率	6 1 . 2 %	60.7%	58.3%
交流サロン	使用時間	273時間	5 7 9 時間	992時間
Z VILL / L V	稼働率	7.9%	17.1%	27.0%

3 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する 準則との適合を審査・指導した。

・届出件数 1件(日立アプライアンス㈱の変更届出)

4 みずほ企業団地ふれあい協議会

団地内の各企業と地元の三地区(横堀、下高島、上高島)自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決する話し合い場を年2回(4/16、12/3)開催した。

5 労働者の就労施策

少子高齢化社会に対応するため、若者の地元就職の促進を図るため、また、商工業及 び農業等に後継者として従事する若年者の労働力を確保するため、該当者に奨励金を支 給した。

(1) 大平地内就職奨励金

新規に大平地内の民間事業所に就職された満25歳以下の方が、居住期間等の支給 条件に該当した方に対して就職奨励金を支給した。

	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
支給件数	6 人	20人	4 人

(2) 後継者育成奨励金

新規に大平地内の民間事業所に就職された満25歳以下の方が、居住期間等の支給 条件に該当した方に対して就職奨励金を支給した。

	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
支給件数	9 人	7 人	3 人

6 勤労青少年ホームの利用状況

(1) 利用概要

ホーム利用登録者数			
男	8 2		
女	2 2 0		
合計	3 0 2		

(単位:人)

ホーム利用者総数						
講座	3, 201					
その他	3, 181					
合計	6, 382					

(2) 月別利用状況

(単位		Λ)
(•	/ 🗸 /

月	4 月	5 月	6 月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2 月	3 月
講座	404	373	474	317	65	108	423	393	364	214	66	0
他	188	186	301	330	240	409	222	225	420	225	213	222
計	592	559	775	647	305	517	645	618	784	439	279	222

(3) 年齢層別利用状況

)

(単位:人)

年齢層	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35 歳~
男	0	1	2 5	2 3	3 3
女	1	1 3	5 1	7 3	8 2
計	1	1 4	7 6	9 6	1 1 5

(4) 地区別

地区	大平	栃木	藤岡	都賀	岩舟	他
前期	8 8	2 2	8	1	5	2 2
後期	7 4	3 9	9	4	5	2 5
計	1 6 2	6 1	1 7	5	1 0	4 7

(5) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動状況

ア 定期講座

講座名	定 員(人)	延実施回数(回)	延受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	2 0	3 0	3 5 6	月
書道	1 5	3 0	2 2 8	月
火曜ヨガ	2 5	2 9	4 0 4	火
ゴルフ	2 5	3 0	5 3 8	火
ハンドメイド	1 5	1 0	1 6	火
クリスタルヨガ	1 5	2 0	1 2 8	水
着付	1 5	2 0	1 1 0	水
テニス	2 5	2 5	3 3 8	水
英会話	1 5	3 0	1 7 6	木
エアロビクス	2 0	3 0	2 1 7	木
金曜料理	2 0	3 0	2 9 3	金
華道	1 5	1 9	1 5 9	金
土曜ヨガ	2 0	1 9	1 2 6	土
気功・太極拳	2 0	1 8	1 1 2	土

イ 体験講座

講座名	定 員(人)	延実施回数(回)	受講者数(人)	開催日
プリザーブドフラワー	1 5	1	9	8/20
ゴスペル教室	2 0	1	1 9	8/24
手話教室	1 5	1	3	8/26
プリザーブドフラワー	1 0	1	1 0	12/11
ピラティス	1 5	1	9	2/1
ラッピング教室	1 0	1	1 0	3/29
パン作り教室	1 5	1	1 0	3/25

ウ ホーム行事 (利用者会事業) 等

行事概要	実施日	参加者数(人)	場所
さくらまつり実行委員参加	4/3, 4	2	大平運動公園
第1回利用者会役員会	4/21	12	ホーム内
第2回利用者会役員会	5/13	12	ホーム内
利用者会歓送迎会	5/16	13	どんさん亭
臨時利用者会役員会	5/27	8	ホーム内
第3回利用者会役員会	6/14	8	ホーム内
青団連大平町クリーンアップ	6/27	18	かかしの里
第4回利用者会役員会	7/20	8	ホーム内
利用者会バスツアー	7/25	34	神奈川県鎌倉市
臨時利用者会役員会	7/29	4	ホーム内

第5回利用者会役員会	8/4	10	ホーム内
第6回利用者会役員会	8/11	13	ホーム内
第7回利用者会役員会	8/18	7	ホーム内
なつこい参加「模擬店」	8/21, 22	35	さくら球場
第8回利用者会役員会	9/2	8	ホーム内
第9回利用者会役員会	9/27	5	ホーム内
第 10 回利用者会役員会	10/13	9	ホーム内
県青連ホームリーダー研修会	10/17	5	ホーム内
第 11 回利用者会役員会	10/21	4	ホーム内
ホーム祭準備、ホーム祭	11/6,7	38	ホーム内
第 10 回利用者会役員会	11/26	8	ホーム内
第 12 回利用者会役員会	10/27	8	ホーム内
第 13 回利用者会役員会	11/4	9	ホーム内
第 14 回利用者会役員会	11/18	6	ホーム内
県青連ホームスポーツ交流会	11/28	4	ホーム内
第 15 回利用者会役員忘年会	12/4	7	鳥吉
青団連成人式手伝い	1/9	5	大平文化会館
第 16 回利用者会役員会	1/12	6	ホーム内
第 17 回利用者会役員会	2/2	7	ホーム内
新春ボーリング&新年会	2/6	36	サンプラザ、さすけ亭
第 18 回利用者会役員会	3/24	8	ホーム内
			-

エ クラブ活動等

クラブ名	活動日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
デッサンクラブ	木	2 1	2 9
テニスクラブ	水	1	6
料理クラブ	金	8	3 9
卓球クラブ	水	1 7	4 5
書道クラブ	月	5	4 2
英語クラス	木	1	4
エアロビクラブ	木	5	4 3
麺 s クラブ	土	1	1 8
ズンバクラブ	月	5	5 2
拳法クラブ	金	4 9	1 0 8

オ就労支援対策事業の開催

実施日	参加数	内容
22. 8. 20	1 人	問合せ2件

(6) 事業計画に計上した事業の達成状況

ア 教養講座の開催

413

- 14講座、前後期340講座開催(3,201人)
- ・体験教室の開催7回、新しい講座開拓
- ・アンケート調査を行い、利用者の意見を把握し反映させた。

イ クラブ活動育成

- ・拳法、テニス、料理、麺 s 、デッサンクラブ (既存登録)
- ・書道、卓球、エアロビ、英語クラス、ズンバ (新規登録)
- ウ 広報活動の強化による受講生の集客アップ
 - ·栃木広報、受講生募集掲載(2回)
 - ·体験教室、生徒募集掲載(2回)
 - ・チラシ配布 (栃木、大平、都賀、藤岡、各ホーム)
 - ホームページの更新
 - ・22年度は、講座利用者人数、3,201名、総来館者数、6,382名と過去、 5年間で最高人数を記録した。

工 就労支援活動

- ・大平広報に、就労支援相談者募集掲載(2回)
- ・栃木ホームとの就労支援活動の協力体制を強化しました。
- ・県、県南、勤労青少年ホーム、ジョブカェフ、地域若者サポートステーション の講演に参加(3回)
- · 就労支援相談者会開催(1回、1名)

オ 若者への居場所の提供

- ・講座終了後のロビーでの談話や軽運動場での交流機会が増えました。
- ・ロビーの使用者が898人となりました。
- カ 利用者間の交流の推進及び、町への活動
 - ・利用者会を中心に、延べ357人参加。 (クリーンアップ大作戦、なつこい、成人式、桜祭り)
 - ・他のホームとの交流会。
 - ・利用者会イベント (バスツアー、ホーム祭、ボーリング大会)

キ その他

・就労支援相談者より、就職の報告を受けた

7 観光振興宣伝事業

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

- (1) 観光パンフレット等の制作・配布 太平山&晃石山を歩こう!! (ハイキングマップ)
- (2) 観光展等への出展

ア 東武ホテルレバント東京感謝祭

- · 実施日 平成22年8月30日~31日
- ・場 所 東武ホテルレバント東京

- イ すみだまつり
 - ・実施日 平成22年10月2日~3日
 - •場 所 墨田区錦糸町公園
- (3) 観光キャンペーン等

ア 北関東自動車道佐野田沼 I C~岩舟 J C T 区間開通記念イベントへ参加

- イ ぶどう狩りキャンペーン
 - ・場 所 東武浅草駅・北千住駅
- ウ 群馬DCへの参加
 - ・場 所 グリーンドーム前橋
- エ TIC TOKYO キャンペーン
 - ・場 所 東京駅丸の内口前
- オ 食と農ふれあいフェアへの参加
 - ・場 所 マロニエプラザ
- 8 観光行事推進事業

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

- (1) さくらまつり
 - ·期 間 平成22年4月2日(金)~4月11日(日)
 - ·場 所 大平運動公園周辺
 - ・主 催 さくらまつり実行委員会
 - 共 催 栃木市
 - •人 出 13,000人
- (2) なつこい
 - ·期 間 平成22年8月21日(土)~22日(日)
 - ・場 所 大平運動公園さくら球場
 - ・主 催 なつこい実行委員会
 - 共 催 栃木市
 - •人 出 17,000人
- (3) 光と音のページェント
 - ・日 時 平成22年11月26日(金)~1月12日(水)午後6時~11時30分
 - ・場 所 新大平下駅東口周辺、プラッツおおひら
 - ・主 催 光と音のページェント実行委員会
 - 共 催 栃木市
 - •人 出 17,000人
- 9 ハイキングコース管理事業
- (1) 首都圈自然歩道管理事業
 - ・かかしの里ぶどうの道、桜咲くパノラマの道、稜線をたどる道(延長11.9km)
- (2) 歩道ハイキングコース

·清水寺~晃石山、大中寺~太平山(延長1.4km)

10 観光施設管理事業

- ・大中寺の森緑地管理
- ・ 清水寺の森緑地管理
- ・かかしの里緑地管理
- ・かかしの里受付業務等管理
- ・大中寺の森トイレ維持管理
- ・清水寺の森トイレ維持管理
- ・林道下皆川線屋外トイレ維持管理
- 林道下皆川線四阿維持管理
- · 観光案内看板 (新大平下駅構內、新大平下駅前、大平下駅前、大中寺前)
- ・観光施設案内標識(国道50号上下線、林道下皆川線視点終点、大中寺の森入口、清水寺の森入口)

11 観光施設等利用状況

(1) 大平地域観光施設等入込状況(1月~12月集計)

(単位:人)

施設名	平成22年	平成21年	平成20年
大中寺	71, 232	71, 110	47,650
清水寺	50, 310	52, 320	39, 570
観光ぶどう園	140,000	140,000	140,000
かかしの里	19, 419	22, 854	19, 374
関東ふれあいの道	88, 625	98, 058	76, 332
さくらまつり	13,000	13,000	13,000
ホタル祭り	5,000	13, 640	13,640
なつこい	17,000	16, 000	16,000
産業祭	11,000	10,000	12, 319
光と音のページェント	17, 000	17, 000	17,000
プラッツおおひら	112, 154	63, 065	73, 450
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	4, 383	5, 442	4,627
計	549, 123	522, 489	472,962

(2) かかしの里観光客入込月別利用状況

(単位:人)

	22年	2 1 年	20年
1月	1,793	1, 206	924
2 月	2, 207	1, 362	1,266
3 月	1,903	2, 166	1,860
4 月	1,850	2, 196	1, 998
5 月	1,832	2, 052	1,602

	6 月	1,518	1, 980	1, 404
	7 月	1,860	1, 914	1,524
	8月	162	2,016	1,572
	9 月	1,956	2, 274	2,058
	10月	759	1, 698	1,686
	11月	1,979	2,070	1,938
	12月	1,600	1,920	1,542
	総計	19, 419	22, 854	19, 374
(3)	歴民俗資料館	観光客入込月別利用	状況	(単位:人)
		22年	2 1 年	20年度
	1 月	521	672	516
	2 月	309	257	270
	3 月	231	383	233
	4 月	341	366	392
	5 月	294	384	323
	6 月	641	586	546
	7 月	316	387	337
	8月	496	436	509
	9 月	456	966	722
	10月	296	547	312
	11月	367	310	346
	12月	115	148	121
	総計	4, 383	5, 442	4,627
(4)	プラッツおおひ	ら 観光客入込月別	利用状況	(単位:人)
		2 2 年	2 1 年	20年度
	1 月	4,062	5, 417	5, 907
	2 月	5, 108	4, 901	4, 928
	3 月	733	5, 053	6, 871
	4 月	7, 322	4, 521	6, 245
	5 月	8,620	4, 852	5, 152
	6 月	9, 217	4, 573	4, 989
	7 月	9, 663	4, 476	5, 375
	8月	10, 165	4, 933	5, 214
	9 月	10, 716	5, 031	4, 808
	10月	11, 925	7, 360	6, 577
		i .		

4, 374

7, 574

63, 065

5, 434

11,950

73, 450

14,028

20, 595

112, 154

1 1 月

1 2月

総

計